

ゼロになるのは〈核〉か、
それとも〈人類〉か――。



『不都合な真実』のスタッフが、再び人類に警告する“今ここにある地球の危機”

カウントダウン ZERØ

COUNTDOWN TO

MAGNOLIA PICTURES AND PARTICIPANT MEDIA IN ASSOCIATION WITH WORLD SECURITY INSTITUTE AND THE HISTORY CHANNEL PRESENT A LAWRENCE BENDER PRODUCTION "COUNTDOWN TO ZERO"
MUSIC BY PETER GOLUB EDITED BY BRAD FULLER BRIAN JOHNSON CINEMATOGRAHY BY ROBERT CHAPPELL GARY CLARKE BRYAN DONNELL NICK HIGGINS
CO-PRODUCED BY LISA REMINGTON EXECUTIVE PRODUCERS JEFF SKOLL DIANE WEYERMANN BRUCE BLAIR MATT BROWN PRODUCED BY LAWRENCE BENDER WRITTEN AND DIRECTED BY LUCY WALKER

participant MEDIA

H HISTORY MADE EVERY DAY

LB Lawrence Bender PRODUCTIONS

www.to-zero.jp

DOLBY DIGITAL

magnolia pictures



第63回カンヌ国際映画祭 特別招待作品 ● 第23回東京国際映画祭 特別招待作品



今なぜ、世界はZEROに向かつて動き出したのか？

あなたの隣に忍び寄る核の脅威。これは――

“もうひとつの不都合な真実”

「我々は糸で吊り下がった核の下で生きている。その糸は、 事故・誤算・狂気で切断される

戦争兵器は減ぼさなければならない。我々人類が滅ぼされる前に…」ジョン・F・ケネディ

オバマ大統領が09年のブラハ演説において「核なき世界を目指す」構想を示し、今年の8月6日、広島で開催された平和記念式典に初めてアメリカ政府の代表としてルース駐日大使が出席、国連からも潘事務総長が初出席を果たした。



核兵器の材料が、いかに粗末に管理され世界を危険にさらしているのか、いつ何者かの手に渡りテロ行為が起きてもおかしくない恐るべき実態。今、世界に存在する約23,000の核兵器。各国の首脳と国際的な専門家、元CIA工作員など様々な視点による証言と映像が重なりながら、背筋が凍る事実が目の前に示される。

被爆から65年目の日本。世界的に核軍縮への気運が高まる一方で、知られざる核の脅威が私たちの身近に迫る。温暖化の危機を唱え、07年にアカデミー賞®を獲得したドキュメンタリーの傑作「不都合な真実」のスタッフが、私たちが気付いていない、迫り来るさらなる地球の危機を警告する。そして、核廃絶=＜ゼロ＞へ向けての意識を目覚めさせる衝撃のドキュメンタリー「カウントダウンZERO」。

「テニスボール程あれば核爆弾はマンハッタンを吹き飛ばすだろう」

エンリコ・フェルミ(物理学者)

「核兵器を手にする方法は3つあります。

盗む、買う、作る

ロルフ・モワット・ラーセン(元CIA捜査官)



「高濃縮ウランを入手したあとは簡単。

テロリスト でさえ核爆弾を作れる」

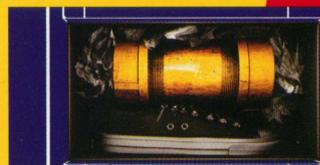
R.スコット・ケンプ(物理学者)

「核戦争が起きて何がいけない？

5億人が死ぬ

だけじゃないか」

米国のある大佐(国防総省での会議で)



「90年代ロシア海軍基地では、核原料のウランより

ジャガイモの方が 嚴重に管理されていた。」

マシュー・バン(ハーバード大学準教授)

カウントダウンZERO

製作:ロレンス・ベンダー「不都合な真実」
監修:ルン・シーガー「カー」ブライント・サイト「小さな登山者たち」
出演:マイケル・コルバチョフ(元ソ連大統領)、ジミー・カーター(元米大統領)、
トニー・ブリス(元英国首相)、ハリー・ブレイム・ウィルソン(元CIA工作員)他
ドキュメンタリー/マガ/リアリティ/ピクチャーズ
パラマウントピクチャーズジャパン配給/上映時間:1時間29分



http://ho-zero-m.jp/

＜春＞TOHOシネマズ 六本木ヒルズ他にて公開

映画盗撮は犯罪!
発見したら
www.elgakan.org
0120-550098